

5 日本文化を世界に発信するための国立京都国際会館における5,000人規模の多目的ホールへの早期拡充整備

(財務省・国土交通省)

▶ 国際会議が大型化・多様化する中、世界標準である5,000人収容の多目的ホールを

京都は、1200年を超える悠久の歴史の中で磨き上げられた華麗で繊細な文化・芸術が息づく山紫水明のまちであり、御所や迎賓館を有する日本文化の神髄ともいえるべき「和」の美意識の発祥の地でもあります。こうしたことから、我が国の歴史・文化に直接触れることを通じて、国際会議等の参加者に我が国への理解を深めていただくことは京都の責務であると考えております。昨年12月には、日本政府観光局から、京都市の国際会議開催件数が196件と過去最高を記録していることが発表されたところであり、これまでの本市の取組の成果が着実に表れていると考えます。引き続き、現状に満足することなく、国際社会における我が国の国力向上にもつながる、国際会議の誘致を推進していかねばならないと考えております。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国際会議の受入れの増加が見込まれる中であって、先般、国におかれましては、平成26年度当初予算に2,500人規模の多目的展示ホールの設計費等が計上され、施設整備に向けた取組を具体化したところでありますが、世界各国では、国際会議の大型化・多様化に対応できる施設が整備され、5,000人が収容でき、それに見合う展示ができる多目的ホールが世界のスタンダードとなっています。

つきましては、国立京都国際会館が、世界に向けた日本文化の発信に貢献し、国際社会における日本の国力向上に寄与するため、更なる拡充を早急に推し進めていただきたく、次のとおり求めます。

提案・要望事項 市・府共同提案

日本文化を世界に発信するための国立京都国際会館における5,000人が収容でき、それに見合う展示ができる多目的ホールへの早期拡充整備

所管の省庁課：財務省（理財局国有財産業務課）、国土交通省（大臣官房官庁営繕部計画課）

京都市の担当課：総合企画局 総合政策室 担当課長 金谷勝巳 TEL 075-222-3033

産業観光局 観光MICE推進室 担当部長 九鬼令和 TEL 075-746-2587

現 状

◆ 国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	メイン会議場 収容人数	メイン 展示場 面積
日本	国立京都国際会館	1,840名	3,000㎡
日本	福岡国際センター	6,000名	3,425㎡
日本	国立横浜会議場 (パシフィコ横浜)	5,000名	20,000㎡
日本	東京国際フォーラム	5,000名	5,000㎡
韓国	コ엑ス会議・展示センター(ソウル)	7,000名	10,000㎡
中国	香港会議・展示センター	8,000名	20,000㎡
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	12,000名	12,000㎡
オーストラリア	メルボルン国際会議場	5,500名	30,000㎡

国立京都国際会館 (S41年～)



外観



大会議場 (1,840名収容)

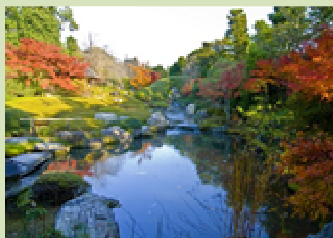
5,000名が収容でき、それに見合う展示ができる多目的ホールが世界のスタンダード

課 題

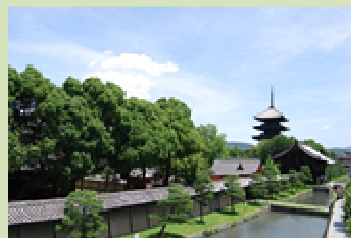
◆ 国立京都国際会館のスペース不足により、開催が見送られた国際会議の事例

年度	国際会議名	要請スペース	開催地
25	国際小児科学会	5,000人規模の会議スペース, 12,000㎡の展示場	オーストラリア
25	国際腎臓学会	3,000人規模の会議スペース, 10,000㎡の展示場	香港
25	世界肺癌学会	5,000人規模の会議スペース, 10,000㎡の展示場	オーストラリア

多目的ホールを新たに整備することによる効果



豊かな自然環境



宗教や芸術文化の集積



高品質な伝統工芸

日本文化の神髄ともいべき京都で国際会議を開催することで日本文化を世界に発信する。



国際貢献の機会を増やし、国際社会における日本の国力向上に大きく寄与することができる。